

芦花 高等学校 令和5年度（1学年用）教科

数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 11 HR ~ 17 HR

教科担当者：

使用教科書：（NEXT 数学A（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な内容について理解・考察し、その原則や法則を利用して、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けている。	図形の関係を知り、その性質について統一的・発展的に考察する力、確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 場合の数 【知識及び技能】 和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数を数える適切な方針を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。	・指導事項 場合の数 ・教材 教科書・問題集・チャート式 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 順列 【知識及び技能】 順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理する。 【学びに向かう力、人間性等】 既知である積の法則から順列の総数を求める式を導く。	・指導事項 順列 ・教材 教科書・問題集・チャート式 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。 【思考・判断・表現】 条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 既知である積の法則から順列の総数を求める式を導こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 組合せ 【知識及び技能】 組合せの条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理する。 【学びに向かう力、人間性等】 順列と組合せの違いに興味・関心をもち、主体的に考えようとする。	・指導事項 順列 ・教材 教科書・問題集・チャート式 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 組合せの条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 【思考・判断・表現】 条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列と組合せの違いに興味・関心をもち、主体的に考えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

